

WS5010-PC ウィンドシールド取扱・取付説明書

適応機種：スズキ車 レッツ4 (UZ50K7)
 レッツ4 G (UZ50GK7)
 型式：BA-CA41A 年式：'07.1～パックミラー10mm

適応機種追加： レッツ5 (UZ50YK8)
 レッツ5 G (UZ50YGK8)
 型式：JBH-CA47A 年式：'08.3～

■ 販売店様へ
 この取扱・取付説明書は、必ずお客様にお渡し下さい。

■ お客様へ
 この取扱・取付説明書は必ず保管してください。

このたびは、旭風防ウインドシールドをお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございました。
 ご使用の前に、この取扱説明書をお読みいただき、いつも手元に置いて、正しい取扱方法により永くご愛用くださるようお願い申し上げます。

部品構成表

No.	部品名	QTY	No.	部品名	QTY
①	シールドASSY	1	⑤	プレーンワッシャー18×10×1.6	4
②	ステー	2	⑥	ナットM10	4
③	ホルダーF10.5	2	⑦	セッティングボルトM10×24mm(ワッシャー仮止め付)	2
④	スプリングワッシャー10mm	2	⑧	シールセット	1

※セッティングボルトM10×24mm(ワッシャー仮止め付)

ワッシャーが外れている場合は、瞬間接着剤などで仮止めしてください。

※シールセットは、ウインドシールドに貼付けて使用してください。

スクリーン取扱について

! 注意

- 走行前に取り付け状態を点検し、各部のボルトが確実に締め付けられているか確認してください。
- ウインドシールドが汚れた場合は多量の水をかけながら柔らかい布か、スポンジで拭いてください。
- ウインドシールドは、傷つきやすいのでブラシなどの洗浄は避けてください。
- ウインドシールドの汚れがひどいときは、中性洗剤を使用してください。
- 酸性洗剤、アルカリ性洗剤、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤でのお手入れは避けてください。
 またバッテリー液、ブレーキフルードがウインドシールドに付着しないようにしてください。ウインドシールドのプラスチックを損傷します。
- ボディカバー(車体力バー)をかぶせた状態で駐車する場合は、日陰の風通しの良い場所を選んでください。
- ボディカバー(車体力バー)をかぶせて高温下に駐車しますとカバー内に熱がこもり、ウインドシールドが変形する場合があります。
- ボディカバー(車体力バー)を使用の際は、ウインドシールドに無理な力がかかるないものをご使用ください。
 小さなものを無理にかけますと、ウインドシールドが変形したり、折れたりする場合がありますので注意してください。
- 無理に折り曲げたり、強い衝撃を加えますと破損することがありますので注意してください。

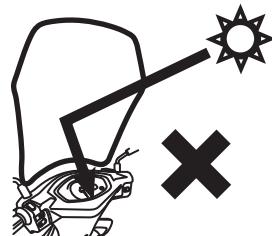
! 警告

- 風の強い日は、風の影響を受けやすいので、スピードを控えめにして走行してください。
- 駐車する場合は、安定した場所(路面の固い平坦地)を選んでください。
- ウインドシールドの著しい傷つきや、黄変がある場合は、十分な前方視界の確保ができない為、シールドの交換を行ってください。
- スクリュー、ボルト、ナットは確実に締めてください。

締付けが不確実な場合、走行中に脱落し、自分または後続車の乗員や歩行者を死亡、または重大な傷害に至らしめる可能性が高くなります。

—スクリーン反射集光の警告—

- スクリーンに直射日光が当たらないように駐車してください。
 スクリーンが凹面鏡になり、反射集光した太陽光が発熱し車両のカバーなどを変形させる恐れがあります。
- 直射日光が当たる場所に駐車する場合は、柔らかいタオルなどでスクリーンをカバーして直射日光が当たらないようにしてください。



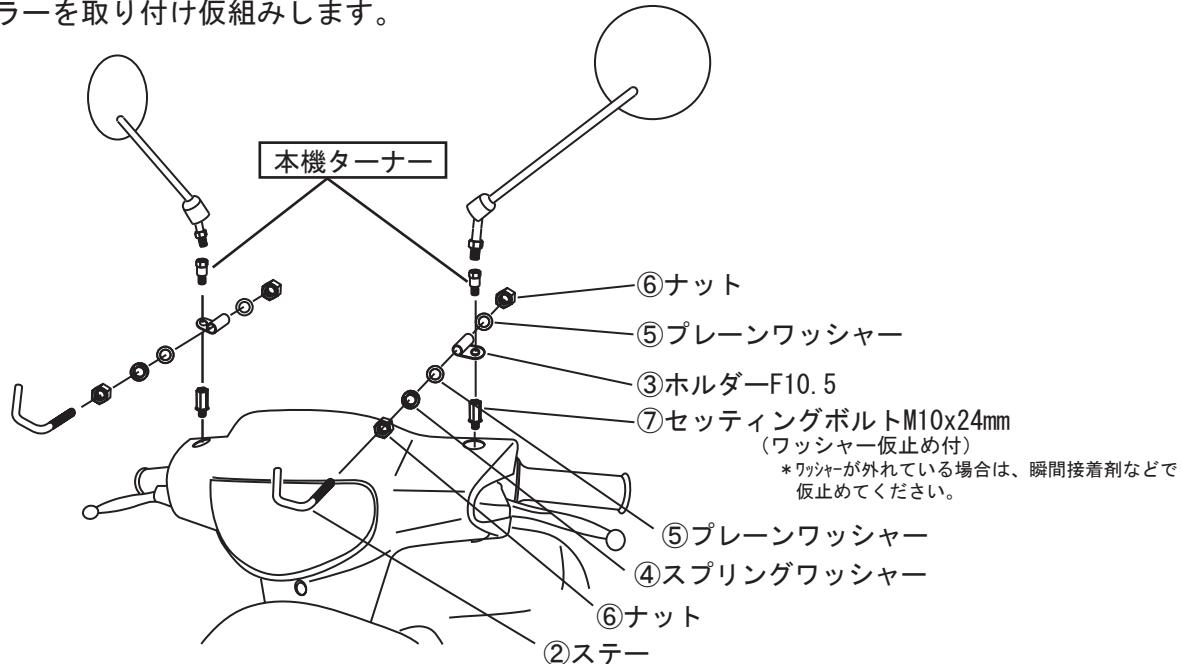
必要工具

●スパナ(10mm) ●スパナ(14mm) ●メガネレンチ(14mm) ●+ドライバー

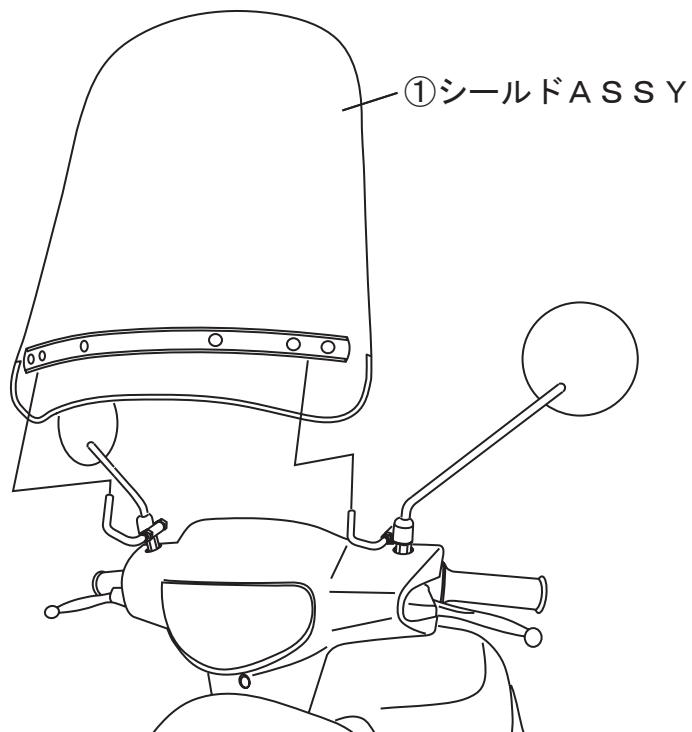
取付け方法

I 左右のバックミラー（本機ターナー含む）を取り外します。
セッティングボルトM10x24mm ⑦を取付けます。

II 図の様にステー②に、ナット⑥、スプリングワッシャー④、プレーンワッシャー⑤
ホルダーF10.5③をセットしプレーンワッシャー⑤、ナット⑥を取り付け本機ターナーと
バックミラーを取り付け仮組みします。



III シールドASSY①の左右のブラケットを取付けているビスを緩めステー②に上から差込み
シールドASSY①と本機ハンドルカバーとのバランスを確認し仮組みます。



IV 本機ハンドルカバーとの隙間を調整し前後左右のバランスを取り本締めます。
最後に後方確認出来る位置でバックミラーを本締めます。